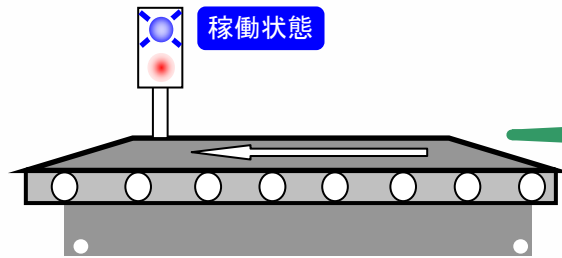


製品の搬送状況に応じて運転を見直しましょう。

製品が搬送されない時間帯はコンベアを停止するなど効率的な運転方法に見直すことで、省エネを図ります。

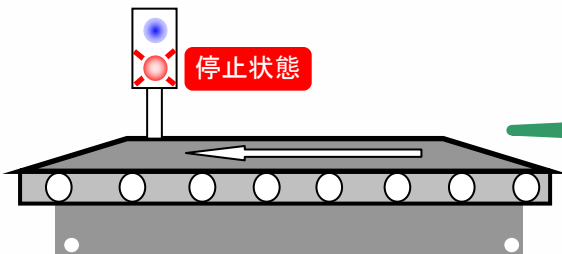
対策例

現状



製品が搬送されない時でもコンベアは稼働状態なのでムダな電力が発生

改善後



製品が搬送されない時は、手動もしくはセンサー等により停止できるようにする

省エネ対策のポイント

- ・安全に起動・停止が可能か、関連設備とのインターロック等を事前に確認してください
- ・機器によっては、起動に時間を要する場合や大きな電力を要する場合があります。これらの諸条件と節電効果を勘案し、停止基準を設定するようにしましょう。

参考

<搬送コンベアの有効な省エネ対策例>

○不使用時のコンベア設備電源OFF

- ・搬送ラインを長期間使用しない場合、コンベア自体の設備電源をブレーカーから切るようすると待機電力の削減を図ることができます。

○省エネ型搬送コンベアの導入

- ・高性能モーターを使用した省エネ型搬送コンベアを導入ことにより、モーター消費電力の削減を図ることができます。

○搬送コンベアモーターのインバータ化

- ・搬送量や重量に応じて、モーターの回転数を制御しコンベア速度等を調整することで、モーター消費電力の削減を図ることができます。